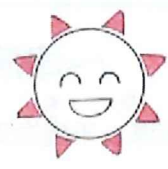




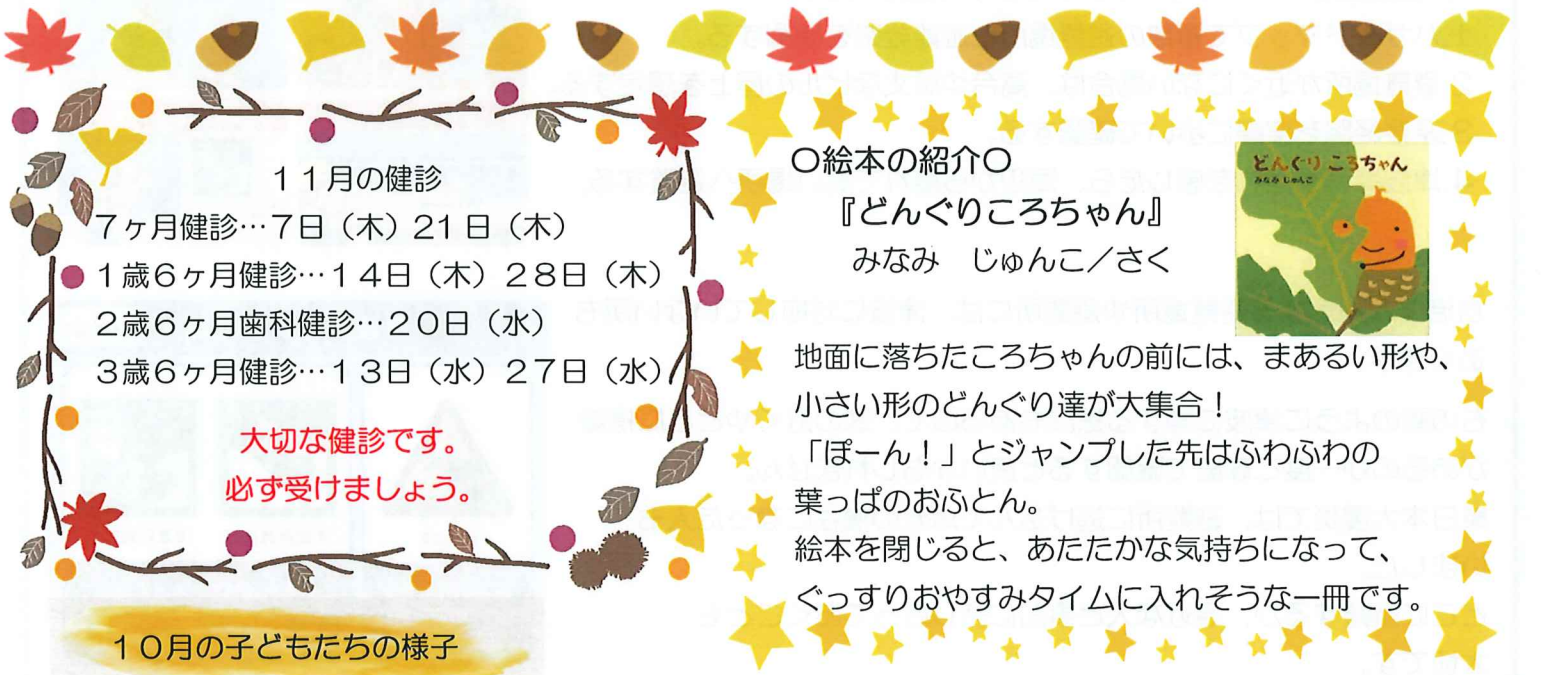
ひなたぼっこ



令和6年11月1日
ちやいんどべーす IDEKITA
園長 甲斐英哉

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられ、公園の落ち葉が赤や黄、オレンジへと姿を変え、お散歩が一段と楽しい季節になりました。子ども達は落ち葉やどんぐりなど嬉しそうに集めたりちぎったりして、それぞれの遊びを見つけて楽しんでいます。

朝夕と日中の気温の差が激しく体調を崩しやすい時期でもありますので、食事、睡眠をしっかりとって、たくさん遊んで病気に負けない身体作りをしましょう。



11月の健診

- 7ヶ月健診…7日(木) 21日(木)
- 1歳6ヶ月健診…14日(木) 28日(木)
- 2歳6ヶ月歯科健診…20日(水)
- 3歳6ヶ月健診…13日(水) 27日(水)

**大切な健診です。
必ず受けましょう。**

〇絵本の紹介〇

『どんぐりころちゃん』
みなみ じゅんこ/さく



地面に落ちたころちゃんの前には、まあるい形や、小さい形のどんぐり達が大集合！

「ぼーん！」とジャンプした先はふわふわの葉っぱのおふとん。

絵本を閉じると、あたたかな気持ちになって、ぐっすりおやすみタイムに入れそうな一冊です。

10月の子どもたちの様子



お友だちとピクニックごっこ☆



筆を使って絵の具をぬりぬり♪



滑り台の下から登るの頑張るぞ



クッキー作りをしたよ♡



みんなでお散歩楽しいね



「ばあっ！」お友だちを発見！！

お知らせ

新年度の申し込みが始まります。
早めの申し込みをお願いします。

今月の保育料の引き落としは**11月25日(月)**です。
前日までにご確認ください。

～津波避難経路について～

南海トラフ巨大地震や日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震では、高い津波が押し寄せ広い範囲が浸水することが想定されています。

津波からすぐに避難できるように、日頃から非常持出品を準備しておいたり、避難場所・避難経路を家族で決めておいたり、アプリやハザードマップを使って避難の訓練を行ってみるのもいいかもしれませんね。

ここで津波避難経路のポイントをご紹介します。

津波避難経路についてのポイントは以下の通りです。

- 1.ハザードマップで複数の避難場所と避難経路を確認する。
- 2.避難場所が近くにない場合は、高台や頑丈なビルの屋上を想定する。
- 3.避難経路を実際に歩いて確認する。
- 4.津波警報や揺れを感じたら、海辺から離れて高い場所へ避難する。

自治体が指定する避難場所や避難所には、津波に対応していない所もあります。

右の図のように津波に関する標識もあるので、家の近くやどこに標識があるのか一度ご家庭で確認すると良いかもしれません。

東日本大震災では、避難所に逃げ込んで津波の犠牲になった人もいました。

どこに避難するか、身近な人と事前に話し合っておくことも大切です。



子どもたちの

キラリを発見



◎ひよこ組のEちゃん

お友だちが悲しくて泣いていると、近くに行き頭をなでなで。その後は自分が持っている玩具をそっと渡してあげていました。優しい姿にほっこりしますね。

◎ばんび組さん

ばんび組さんは今、上の服の着脱を自分たちで頑張っています。特に手が抜けなかったり、通すのが難しかったりしますが諦めず最後まで戦っています。できた後は嬉しそうに報告をしてくれていますよ！

次回もお楽しみに◎

『頑張らせるより 手伝っちゃおう！』

「自分でできるようにしなければ」と子どもを頑張らせすぎていませんか？

「こないだ じぶんでできたからできるでしょ」なんて言葉つい言ってしまいがちですが、甘えたかったり、ご機嫌が悪かったり、気分が乗らなかったりと大人でもあるあるですよね。苦手なこと、難しいこと、気分が乗らないとき無理に頑張らせる必要はありません。「がんばろう」という気持ちは、「できた」という達成感から自然に湧き出てくるものです。できないことは、手伝ってできる部分だけ子どもがやることで「できた」が重なっていきます。そして、お互いがにっこりとできます。ここで、ポイントです。手伝うときには、「手伝いましょうか」など優しく穏やかに声をかけるのがコツです。

いやいや期の時期は、このやり取りが難しいこともありますが、まずは、やってみてくださいね。

